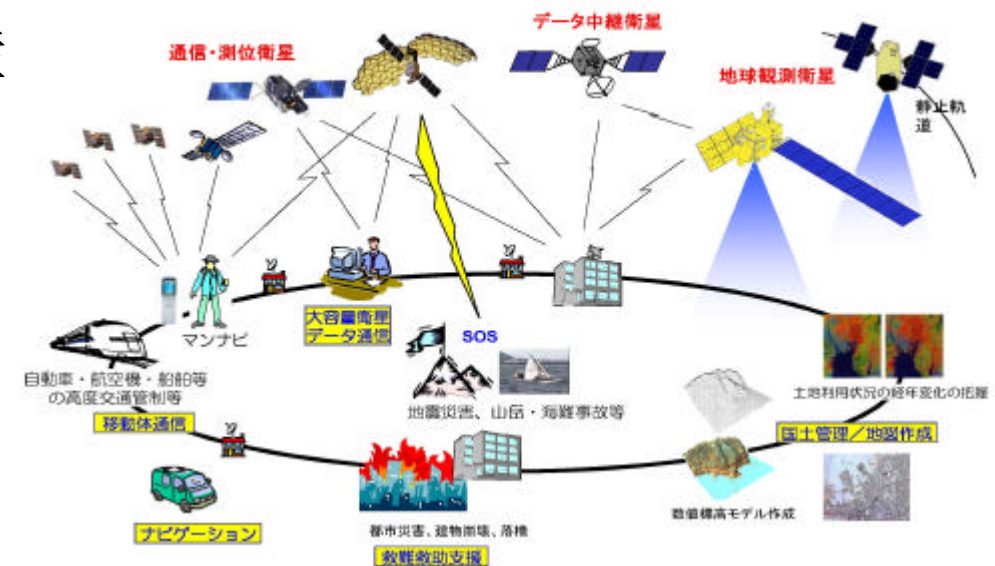


⑤産業界と協働して、ビジョン/ロードマップを作成、共有

- 産業界と協働して、将来の宇宙航空分野の技術開発及び宇宙開発利用の**ビジョン及びロードマップを作成・共有**し、産業界とJAXAとが一体となって**宇宙開発利用を推進**することにより、産業競争力強化及び宇宙開発利用の産業化に貢献する。
- 将来の研究開発については、民間との連携のもと、**将来の実用化を意識した計画を立案し、実行する。**
- 産業界と密に議論を行える場を平成15年度末に設置することにより具体化し、**JAXAの将来計画等に反映していく。**



⑥宇宙開発利用の裾野を広げるための活動の実施

- 宇宙開発利用に関して、非宇宙分野を含む**新規ユーザを開拓**するために、企業及び政府関係機関に対して利用ニーズの発掘及び顕在化のための**マーケティング活動を開始**している。
- JAXAの有する**風洞設備やスペースチャンバ等の試験設備**について、外部の利用者の利便性向上を図った**供用を促進**している。旧宇宙3機関の実績、年間約40件。
- 地域企業に小型衛星開発、宇宙用部品開発等への参画を促すことによる**地域活性化**、更に**地域の潜在的な宇宙利用ニーズの発掘とシーズへの橋渡しによる事業創出を支援**している。平成15年度は、東大阪に関西サテライトオフィスを設置した。
- 宇宙へのしきいを下げ、**非宇宙分野を含めた新たな参加者を増やし**、宇宙活動を活発化させるとともに、将来の宇宙産業の芽を育む**オープンラボ等各種制度を整備し、運営**する。

